


# 全国港湾 Fax 通信

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番)全国港湾24FAX第33号
(宛先) 各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	2024 年 11月 29日
	(発信者) 全国港湾 書記局 

(件名)

## 自動化・機械化に関する労使 WG の協議経過について

(本文)

- 11月29日(金)10時より自動化・機械化に関する労使 WG を開催した。
- 冒頭、業側代表より、以下の事案について提案があり、組合側の上承を求めた。
  - (1) 神戸港ポートアイランド PC-18 コンテナターミナルにおける遠隔操作 RTG の導入について、予定している全 18 基の内 3 基を稼働する。
    - ① 25 年 3 月 1 日から稼働を予定している。
    - ② 場所は、PC-18 西側を拡張したヤードで 18 レーンの内 5 レーンの中で 3 基を稼働する予定。
    - ③ 操作卓 3 台で RTG 3 基を 1 基 2 名の交代制で稼働させる。
  - (2) 1983 年(昭和 58 年)3 月 7 日付「コンテナ専用埠頭における作業基準に関する協定書」を基本とし、これを遵守することを明言した。
- 提案を受けて労側から以下の発言を行なった。
  - (1) 地区から事前に説明を受けており、問題なしとする。
  - (2) RTG 1 基 2 名体制を確認したい。
  - (3) ヤードの 1 レーンに RTG が遠隔操作と有人操作が併用になると予想されるので安全作業に十分配慮すること。
  - (4) 25 年 3 月 1 日の稼働前に現地視察を行い精査したい。
  - (5) RTG 18 基がすべて遠隔操作になるのは、何時頃に予定しているのか。
- 業側は労側の要請を上承し、RTG 18 基が遠隔操作になるのは、2027 年度を見込んでいると回答し、次年度の遠隔操作は何基になるかは検討中であるとした。
- WG として、今回の提案について上承するとして、港湾の自動化・機械化に関する労使協議会(親委員会)を 12 月 13 日(金)10 時から開催し、そこで審議することとした。また、親委員会で承認されれば、同日の事前協議に申請する手順を確認した。

以上